

授業の概要

歯科技工造形美術の理論的, 学問的背景を理解し, 美的感性, 想像力を養う。また, 歯牙形態の観察・デッサンの技法と技工作業に調和する色彩環境の解説, 3DCG で製作する立体造形の基礎を学修する。

■教科書：最新歯科技工士教本 歯科技工造形学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18:00～18:45（4月9日～7月23日）

■オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 火曜日 16:00～17:00

■成績評価：定期試験(100%)で評価する。

■注意事項：教科書および自然歯模型 B-ANA 3A (28S) を持参すること。

■授業方法：板書とスライドによる講義を行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：木内浩子：歯科診療所で主任歯科技工士を務めた臨床経験を基に歯科技工士の立場から、臨床においての基本となる歯の形態を立体的に再現するための理論と技法について講義する。
野田実希；武蔵野美術大学造形研究科および歯学部附属歯科技工専門学校での経験を生かし、歯科技工造形美術の理論と技法について講義していきたいと考えています。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月9日 野田 実希	1. 美とは 1)美について 2)歯科審美 3)人間の歯らしい歯とは何か？ (教)pp. 1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・シンメトリー形態の意味と自然界の固有のバランスと生命感を関連づけられる。 ・人間の歯らしさを表す構成要素を説明できる。 ・歯科審美の意義を解釈する。
第2回4月16日 野田 実希	2. 歯の観察に至るまで 1)感覚器官と認知 2)見ることのメカニズム 3)対象をどうとらえているか (教)pp. 6-16	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報に触覚情報を協調させる技工作業の有効性を説明できる。 ・視覚情報には十分な光量が必要な理由を説明できる。 ・ヒトの眼の構造と働きを説明できる。 ・技工作業に関わる幾何学的錯視の種類と見え方を説明できる。
第3回4月23日 野田 実希	3. 歯の形態表現 1)準備と基本 (1)使用材料 (2)陰影とタッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・発色や濃さの異なる鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴムなどの使用法と効果を説明できる。 ・基本的造形形態と陰影の模写などで歯の

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	(3)造形形態の陰影と表現 (教)pp. 17-20	形態の表現方法を解釈できる。
第4回5月7日 木内 浩子	3. 歯の形態表現 2)歯形彫刻用見本を描く (1)白い歯を描くということ pp. 21-30	<ul style="list-style-type: none"> ・発色や濃さの異なる鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴムなどの使用法と効果を説明できる。 ・基本的造形形態と陰影の模写などで歯の形態の表現方法を解釈できる。
第5回5月14日 野田 実希	3. 歯の形態表現 2)歯形彫刻用見本を描く (2)形の取り方 (教)pp. 21-30	<ul style="list-style-type: none"> ・発色や濃さの異なる鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴムなどの使用法と効果を説明できる。 ・基本的造形形態と陰影の模写などで歯の形態の表現方法を解釈できる。
第6回5月21日 野田 実希	4. 前歯のスケッチから着彩・造形表現 1)口腔の観察と着彩 (教)pp. 31-34	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠, 歯周組織の形と色の変化を理解する。 ・色鉛筆の基本色を塗り重ねることで, 口腔・顎顔面の表現を解釈できる。
第7回6月28日 野田 実希	4. 前歯のスケッチから着彩・造形表現 2)歯を描くということ (教)pp. 31-34	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠, 歯周組織の形と色の変化を説明できる。 ・色鉛筆の基本色を塗り重ねることで, 口腔・顎顔面の表現を解釈できる。
第8回6月4日 野田 実希	4. 前歯のスケッチから着彩・造形表現 3)歯の観察 (教)pp. 34-37	<ul style="list-style-type: none"> ・人工歯とパラフィンワックスを用いて細部まで精密に表現する方法を解釈できる。
第9回6月11日 野田 実希	5. 顔の観察 1)解剖学的スケッチ (教)pp. 38-41	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学的に均整のとれた自画像の表現と彫塑において, 頭蓋骨外形から形成することの意味を解釈できる。
第10回6月18日 野田 実希	5. 顔の観察 2)粘土による造形 (教)pp. 42-47	<ul style="list-style-type: none"> ・口元の表現の際には, 口腔内の状態(特に歯列)のイメージができる。
第11回6月25日 野田 実希	6. 歯科技工と色彩 1)色彩の基本 2)色を見る pp. 48-50	<ul style="list-style-type: none"> ・演色性について説明できる。 ・錐体, 桿体と色知覚について説明できる。
第12回7月2日 野田 実希	7. 歯科技工と色彩 3)無彩色と有彩色 4)色の分類と表示 5)色の見え方 (教)pp. 51-57	<ul style="list-style-type: none"> ・色の三属性とマンセルシステムについて説明できる。 ・同時対比の種類とその現象について説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第13回7月9日 野田 実希	8. 歯科臨床における色彩 1) セラミック修復時の色の表現 2) 天然歯の色 (教) pp. 58-60	<ul style="list-style-type: none"> • 色の三属性と歯の色彩との関係を解釈できる。
第14回7月16日 木内 浩子	8. 歯科臨床における色彩 3) 色調選択 (教) pp. 60-63	<ul style="list-style-type: none"> • 天然歯の色について解釈できる。 • 色調選択の目的と方法を解釈できる。
第15回7月23日 野田 実希	9. コンピュータグラフィックス (教) pp. 64-69	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータリテラシーと関連のある歯科技工を説明できる。 • グラフィックス, コンピュータグラフィックスについて説明できる。 • モデリングとレンダリングについて説明できる。 • モデリングとスカルプティングの技法の違いを説明できる。